

新しい人権

①

モノマナビ研究所

【1】 次の文章の ア～ウ にあてはまる語句を書き入れなさい。

5点×3

- ① 戦後の日本では(ア 高度経済成長)期に産業が盛んに行われた結果、有害物質による(イ 公害)が大きな問題となった。このような背景から人間が快適に生活できるように、(ウ 環境権)がとなえられるようになり、この権利は今でも様々な場面で主張されている。

【2】 適切な語句を書きなさい。

5点×3

- ① 開発を行うときに、事前に環境にどのような影響があるか調べることを何というか。
(環境アセスメント)
- ② 医師からの十分な説明に基づき、治療を受ける患者の同意を何というか。
(インフォームド・コンセント)
- ③ 自分の生き方や生活の仕方を自由に決めることのできる権利を何というか。
(自己決定権)

【3】 次の文章の ア～ウ にあてはまる語句を書き入れなさい。

5点×5

1999年に日本でも(ア 情報公開)制度が制定された。これは主権者である国民が正確な情報を得るため、すなわち(イ 知る)権利を守るためである。しかしこの権利を主張するあまり、(ウ プライバシー)の権利が侵害されてはならない。近年では(エ インターネット)の普及により誰でも簡単に情報を得ることが可能となった。そのため自由権の一つでもある(オ 表現の自由)と(ウ)の権利のどちらを優先させるべきかといった論争は絶えない。



【4】 次の文章はある条文の一部を示している。次の問いに答えなさい。

5点×5

第1条 すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。

第2条 1. すべての人は、人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治上その他の意見、国民的若しくは社会的出身、財産、門地その他の地位又はこれに類するいかなる事由による差別をも受けることなく、この宣言に掲げるすべての権利と自由とを享有することができる。

一部抜粋

- ① この文章は1948年に国連で採択され、世界各国の人権保障の模範となったものであるが、これは何か。
(世界人権宣言)
- ② その後①に法的拘束力を持たせ1966年に採択されたものは何か。
(国際人権規約)
- ③ 第2条にもあるように、いかなる差別も生まれないよう先住民の権利を保障する動きも進んでいる。カナダ・オーストラリア・ニュージーランドに代表する先住民族をそれぞれなんというか答えなさい。

カナダ (イヌイット) オーストラリア (アボリジニ) ニュージーランド (マオリ)

No.() 年 組 名前

